

## ⑦子どもに本を手渡す担い手の意識

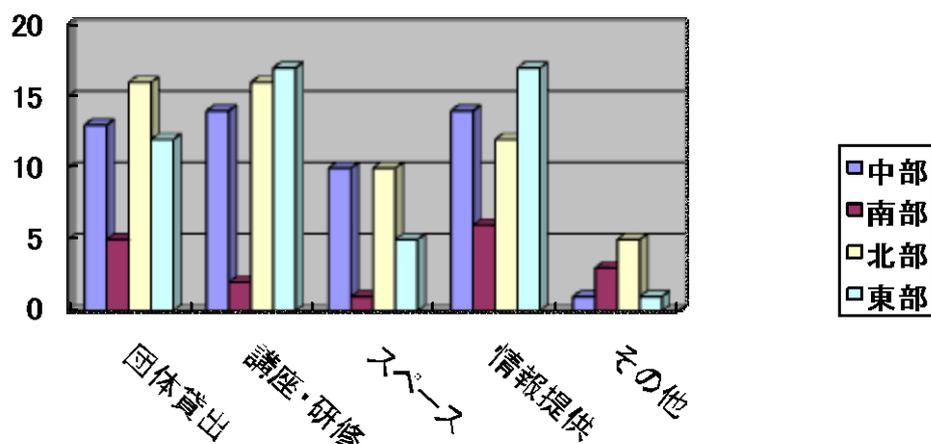
子どもと本をつなぐ地域交流会参加者へのアンケート調査

・「豊中市子ども読書活動推進計画」についての認知度について

	中部	南部	北部	東部
アンケート数	20	10	24	24
推進計画の認知度	85%	60%	62%	58%

・子どもの読書環境の充実をめざし、ボランティアの活動を支援するために、豊中市が力をいれて取り組むべきことはどのようなものがありますか。

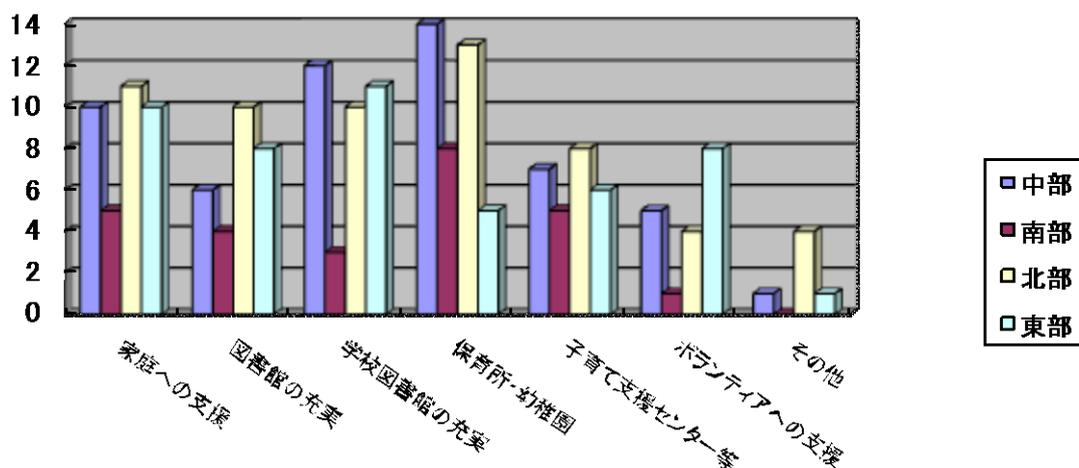
1. 団体貸出など資料面での支援
2. 講座など研修の機会の提供
3. 打ち合わせのためのスペース提供
4. ボランティア活動に関する情報提供
5. その他



（その他の回答）小さな単位・自治会などへの支援、図書購入費の増額、魅力のある図書館づくり、保育所（園）および幼稚園教諭への働きかけ、広報面での支援、学校とボランティアの連携による読書の時間の設定

・豊中のすべての子どもたちが読書を楽しむために、必要なことはどのようなものがありますか。

1. 家庭での読書の支援
2. 市立図書館の充実
3. 学校図書館の充実
4. 保育所や幼稚園での子どもの身近な場所での読書環境整備
5. 子育て支援センターや子育てサロンなどでの読書環境整備
6. ボランティアへの支援
7. その他



(その他の回答) 本に出会える、本を楽しむ場のPR、人の集まる場所での読み聞かせ、市としてのやる気(予算、職員配置)

(アンケートより伺える傾向)

・子ども読書活動推進計画の認知度については、子どもに関わる活動に取り組む市民の中で

60%を超えている

・ボランティア支援のための必要な要素として、団体貸出やスペースの確保の他、情報提供や研修の機会の提供を多くのボランティアがあげている。